

ル。
軍イ部長来り南京ニテ多量ノ衛生材料ヲ押収セリト聞ク。又宣撫ノ意味ナラス我軍隊ヲ防疫上地方民ノ診療ヲ実施スル考ヘナリトノコトナリシヲ以テ飽ク迄本末ヲ顛倒セサル如ク余力ヲ以テ行ウコトヲ要求ス。

第十軍ハ明二十二日ヨリ18D01D、第一後備団ヲ以テスル杭州攻略戦ヲ開始ス。

荻洲部隊山田支隊ノ捕虜一万数千ハ逐次銃剣ヲ以テ処分シアリシ処何日カニ相当多数ヲ同時ニ同一場所ニ連行セル為彼等ニ騒カレ遂ニ機関銃ノ射撃ヲ為シ我將校以下若干モ共ニ射殺シ且相当数ニ逃ケラレタリトノ噂アリ。上海ニ送リテ労役ニ就カシムル為榊原參謀連絡ニ行キシモ(昨日)遂ニ要領ヲ得スシテ帰りシハ此不始末ノ為ナルヘシ。

荻洲部隊ハ本日大体所命線ニ部隊ヲ配置シ且夫々一部ヲ更ニ前方要点ニ出シタルカ如シ。

南京ニハ既ニ運送船来リ鉄道モ明日ハ通スル模様ナリ。鎮江南方ノ墜道ハ土砂崩壊甚シキ為迂回路ヲ取リシト。

◇十二月二十二日 晴

各部ハ本日南京ニ移転。

正午過野戦衛生長官小泉中將来部傷病兵ノ救護処置ニ関シ種々努力逐次成功シツアルカ如シ。

大内少佐帰リ天谷支隊、13Dノ実況ヲ聞ク。天谷支隊ノ戦死十数名負傷百余名、13D戦死十数名許負傷数十。II/58iハ発動艇ニ依リ先遣シ六合ハ殆ト抵抗ヲ受クルコトトナク奇襲シ、途中ノ敵ノ抵抗ニ対シテモ夜間迂回攻撃ヲ加フル等巧妙ナル戦闘ニ依リ短時間ニ之ヲ撃退セリ。騎兵ハ敵ノ貨車十両許リ鹵獲ス、其他ニハ輪転材料目星シキモノ無キカ如シ。揚州ハ殆ト平時状態、滁県等ハ焼失家屋モ多ク人民モ現存セス。道路鉄道共多クノ個所ニテ破壊サレアルモ兎モ角配属自動車中隊ハ滁県ニ来リアリト言フヲ以テ遠カラス更ニ補修サルヘシ。

13Dノ鹵獲品以上ノ外迫撃砲四、米、小麦各千俵。

北方ニ対スル(徐州ヘノ)作戦計画ノ骨子ノ御承認ヲ受ク、九江方面ニ対スル作戦ハ更ニ研究スヘキモ大体情勢判断トスヘキコトトス。

9D騎兵ノ軍旗、旗手ノ馬狂奔ノ為軒ニ撃突破損セル旨師団長ヨリ報告アリ。

16D及兵站部隊、後備隊其他並10A国崎支隊其他ヲ一月上旬及十二月下旬他ニ転用セラレルル内示方面軍ニ来リアリ、軍ハ大体之ニテ作戦ヲ終ラシメラルヘキカ。

師団長會議、參謀長會議ノ書類ノ御承認ヲ受ク。

光華門一番乗りハ工兵ナルモ將校トシテハ山際少尉ナルコト判明ス、其素性等ハ本日ハ未タ判明セス。

◇十二月二十三日 小雨

午前一〇・〇〇発南京軍司令部ニ移ル。首都飯店ト高等法院(?)ナリ。松平大尉、浦野MG大隊ノ補充中隊長トシテ將校以下ノ補充員百余名ヲ引率シ来レリ。目下13D配属中。古宮少佐13Dト連絡シ帰路再ヒ立寄り色々話ス。13Dノ江陰攻撃ノ際ノ歩砲協同及三段ノ超越交代ニ依ル縦深陣地奪取等巧妙ナル戦闘ヲ為シアリ、特設師団モ十分ナル戦力ヲ保持セルカ如シ。

◇十二月二十四日 曇

16Dノ転用ハ暫ク見合セトナル。

一〇・〇〇ヨリ兵団長會同。

△注・欄外ニ◇二十二日天谷支隊ノ一部ハ天長ヲ占領セリ。

3D報告——死傷一二、五〇〇、内死三、三〇〇、公病死者三〇〇。第八次ノ補充来リ各隊定員ニ達シ一部ハ超過。馬ハ約四、〇〇〇ハ死傷欠数約一、四〇〇。後方ノ輸送力ノ不足ハ牛

第十三師団・歩兵第百三旅団

歩兵少佐 榊原主計³⁵期

小泉親彦(のち厚生大臣)

輪転材料とは鉄道用諸材料